

ひと ひと

女と男の情報紙

笑がお



私の母は82歳です。

7年前から認知症になり、4年前にアルツハイマー病と診断されました。

私が大好きだった、母の輝くような笑顔はもう見るできません。

グループホームでの生活は彼女にとって、戦時中の寄宿舎のようなものなのでしょうが、入居した最初の頃はおうちに帰りたいと泣きました。

そのおうちは彼女が夫と何十年も暮らした家ではなく娘時代のおうちでした。

7人兄弟のいるにぎやかなおうちでした。戦争で焼けてしまったおうちでした。

今は帰りたいという言葉も出なくなりました。娘の私を時々、彼女の妹と間違えます。

でも、私の顔を見ると少しかだけ微笑みます。

グループホームの隣にある保育園の園児の姿には「可愛いね」と笑顔を見せてくれます。

静かで優しい笑顔です。

その笑顔に、とても癒されている私がいいます。

どんな笑顔にも、まわりの人の心を元気づけてくれる不思議な力がひそんでいるのです。自分のまわりの笑顔を大切にしていきたいと思いませんか？

みんなが笑顔でいられるために……

みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを

一緒に考えていきませんか？

イキイキ笑顔人

自分らしく
輝いている人見つけた。



ファイルNo.3：竹俣 ^{けいせい}圭清さん(32歳)

2005年婦人画報社主催「第6回私の茶遊び大賞」準グランプリ受賞。
陶芸・木工・機織作家らと広く交流。両親と兄の4人家族。

決めたらとことんやりたい

僕は、やり始めたらとことんまでやりたいタイプなんです(笑)。高校時代はラグビーに夢中になり、花園を目指して燃焼。大学は文学部に進みましたが、後半はダブルスクールでインテリアデザインの勉強を始めました。小さい頃から作ることが好きで、「自分の手で何かを作りたい」という気持ちがだんだん強くなってきたからでした。アルバイトでギャラリーなどの内装の仕事を手伝っているうちに、木工の仕事への興味が湧いてきて「家具職人になりたい」と思うようになり、卒業後は家具工房に就職しました。

漆職人だった祖父への憧れ

職人への憧れを抱いたのは、漆職人だった祖父を見ていたからだと思います。祖父が刷毛やへらを使ってお盆などを丁寧に仕上げている工程は、いつまでも見続けたいたいものでした。祖父は僕が10歳の時に亡くなりましたが、祖父の背中が僕に職人のかっこよさ男らしさを教えてくれた気がしています。

家具職人として働いたのは、実家の家業を継ぐことになるまでの5年間でした。今でも徒弟制度が残る厳しい仕事環境でしたが、乗り越えられたのはラグビーで鍛えた精神力のおかげだと思います(笑)。

「ぬしさ」を「NUSHISA」へ

食器の卸販売をしていた家業を二代目店主として継いだのが2004年。28歳の時でした。今までの店名「ぬしさ」を「NUSHISA」に変え、店内も大幅にリニューアルしました。壁や床など、改装は僕自身が担当。

「吉川の魅力の一つになりたい」

“楽しい暮らし方”も提案する

うつわの店 二代目です

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな……。二郷半沿いにある器の店「NUSHISA」は、食器販売だけでなく楽しいイベントも評判の店。二代目店主となって4年目の竹俣圭清さんの「笑顔」は、何だかとてもイキイキしています。そのわけを語ってもらいました。

楽しい作業でした。店内に並べる商品は、日常の生活に似合う美しいモノをそろえようと決めました。そして、器とかモノを売るだけでなく器を含んだ生活のスタイルや楽しみ方も提案したい…そんな思いからイベント時にはお茶や食事もとできるスペースも作りました。以来、陶芸作家の方たちとの交流も生まれ、展示企画や和食料理の方と組んで季節の料理を出したり、お茶の講座を設けたりと様々なイベントに取り組んでいます。苦勞も多いですが、お客さまの笑顔を見ると、またやろうという意欲が湧いてきます(笑)。

みんなが誇れる吉川らしさを

最近興味を持ち始めたのは、生まれ育った吉川の郷土史や文化です。都市開発で何処も同じような風景になっているのが残念でならないのですが、あらためて自分の郷土を振りかえり、吉川らしさって何なのか?と考えるようになりました。みんなが誇れる吉川らしさを見つけたい。自分だけが良いと思うのではなくて、世代を超えて誰もが感じる魅力がたくさんある吉川になって欲しいですね。まだまだ模索中ですが、いつか「NUSHISA」が吉川の魅力の一つになればと思っています。

お知らせ

6/7～22 「岡本さんのうつわをいつもの食卓で」

陶芸家 岡本芳久さんの作品展を開催。

会期中、お茶とお菓子も楽しめる。

ホームページ URL <http://nushisa.petit.cc>

決まりました！

2グループの企画事業案にGO！！



<市民交流センターおあしす>

吉川市は市民とともに男女共同参画社会づくりを推進することを目的に、「男女共同参画推進市民企画事業」の企画案を募集しました。男女共同参画への理解や推進に役立つ講座などを、市内で活動する団体やグループに委託し実施する新しいスタイルの取り組みです。委託金額は1団体につき80,000円を限度額として2団体までといった募集内容でした。

応募があった2つのグループからの事業案は、5月末に行われた男女共同参画審議会による選考を経て、双方とも「男女共同参画推進市民企画事業」として認められ委託が決定されました。

2008年度内に、<市民交流センターおあしす>で開催される予定の2つの企画事業の内容を紹介します。

『拠点でつなぐ女と男<人と人>』

企画案①：特定非営利活動法人NPO ネットよしかわ

企画目的：複合施設「市民交流センターおあしす」は市民参画の拠点として「男女共同参画社会の実現及び社会福祉の増進に寄与すること」を目的として合せ持つが、現状はその機能が実現されていない。仙台市の男女共同参画センターの一つ「エルパーク仙台」の市民活動スペースの管理運営を受託している「イコールネット仙台」の活動の取り組みを通して、市内NPOを活性化させ、また、男女共同参画の活動拠点としての「おあしす」を始動するきっかけとする。

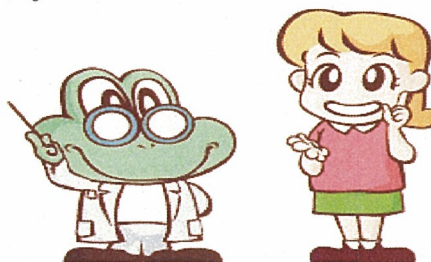
講座内容：「エルパーク仙台」の活動紹介。ワークショップ形式による交流など。

『幸せって何だっけ？～本当の豊かさとは～』

企画案②：吉川男女共同参画を考える会ぐるーぷすまいる

企画目的：男女共同参画の視点を踏まえながら「本当の幸せ」「本当の豊かさ」とは何かについて、市民が学べる機会をつくる。経済効率を最優先にした社会傾向を背景にして、これまで私達の意識には幸せ＝豊かさという図式があった。しかしながら一方では、さまざまな憂うべき社会現象（働き盛りの自殺やうつ病の増加など）が目立つようになり、前述の図式に疑問を投げかける提言を多く目にするようになった。こうした社会の流れや価値観の変化を学ぶことで、これからの市民生活に「元気」と「笑顔」を提供したい。

講座内容：講師によるトークと、吉川在住の音楽家によるライブ。



07年男女共同参画フォーラムから生まれた スプリングコンサート

昨年3月吉川市男女共同参画フォーラムに出演したソプラノ歌手の檜垣佐夜子さんは、フォーラムを聞きに来ていた三郷市合唱連盟の方からの要請により、今年4月に三郷市文化会館でスプリングコンサートを開きました。日本舞踊家の花柳輔蔵さんとの素晴らしいコラボレーションが話題となった吉川のフォーラムは、また新しい企画を彼女に呼び込んだようです。あれから1年、檜垣佐夜子さんはなお一層成長し、楽しいトークと素晴らしい歌声で客席を沸かせました。彼女の「自分らしく」夢を追い続ける姿は、私たちを元気づけてくれました。



「ありがとうございました」と檜垣さん。

あなたは大丈夫ですか？ 知ってください！DVのこと！

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、一般的に夫や恋人など、親しい関係にあるパートナーが相手に対してふるう暴力で犯罪となる行為も含む重大な人権侵害です。DVは、「身体に対する暴力」、「精神的暴力」、「性的暴力」、「経済的暴力」といった様々な形をとってあらわれます。この背景には、女性を男性より低くみる意識や性別による固定的な役割分担意識・社会の慣行があると言われてしています。DVは、「一部の特別な人」の間に起こるものではなく、学歴、職業、社会的地位に関係なく起こっている問題です。DVのない社会を実現するためにも、私たちは、DVに関する認識を深め、男女がともに人権を尊重し合い、一人ひとりの個性と能力を発揮し責任を担う男女共同参画社会を築いていきましょう。

DVチェックリスト

被害者のチェックリスト		加害者のチェックリスト	
<input type="checkbox"/>	彼の機嫌を損ねては大変と思い、彼の要求を受け入れてしまう。	<input type="checkbox"/>	この家の主人は自分なのだから、彼女は自分に従うべきと考えている。
<input type="checkbox"/>	彼が怒りを爆発させて怒鳴ったり暴力をふるったりする行為に対して、彼に謝ったり、彼のために第三者に謝ったりする。	<input type="checkbox"/>	彼女がやるべきことをやらなかったり、生意気なことを言ったりした時は、ときには力を用いても厳しく対応しなければいけないと考えている。
<input type="checkbox"/>	彼の態度に恐怖を感じることもある。	<input type="checkbox"/>	自分が手を挙げてしまうのは、彼女が怒りを誘発するからだと思っている。
<input type="checkbox"/>	彼からひんぱんに批判されたり、馬鹿にされたりする。	<input type="checkbox"/>	つい抑えがきかなくなって手をあげてしまっても、そのあとすぐに誠実に謝り、彼女も許してくれているから、ひどいことをしているわけではないと思っている。
<input type="checkbox"/>	彼からのセックスを強要され、いやなのに応じている。	<input type="checkbox"/>	彼女の交友関係が気になって仕方がない。電話で聞き耳を立てたり手紙を開けて読んでしまうことがある。
<input type="checkbox"/>	彼から殴られたり、蹴られたり、髪を引っばたり、突き飛ばされたり、刃物などで脅かされたりしたことがある。	<input type="checkbox"/>	家の中のことを実家や親戚や彼女の友人に知られたくないと思っている。
<input type="checkbox"/>	彼によって家族や友人に会ったり、電話で話すことをいじめられている。	<input type="checkbox"/>	彼女を殴ったり、蹴ったり、殺すと脅したり、自殺すると脅したり、物を投げたり、突き飛ばしたりのいずれかを複数回したことがある。
<input type="checkbox"/>	貯金や給料へのアクセスを彼に占有されている。	<input type="checkbox"/>	彼女が自分の思い通りにならないと、激しい怒りを覚える。
<input type="checkbox"/>	話してもわかってもらえる人はいないと感じている。	<input type="checkbox"/>	自分がセックスを要求したら彼女が応じるのは当たり前だと思う。
<input type="checkbox"/>	根はいい人だから暴力さえふるわなければなんとかやっていけると思っている。	<input type="checkbox"/>	自分は酒癖が悪くて酔うと殴ったりしてしまうので、酒の量を減らしたいと思っている。

引用参考文献：「ドメスティック・バイオレンス 愛が暴力に変わったとき」森田ゆり著(小学館)
上記のチェックリストで該当する項目が6以上ある人は、DVの被害者・加害者である可能性が大変高いといえます。

DVは、二人の間で解決する事は非常に困難ですので、ひとりで悩まないで誰かに相談してください。

女性総合相談 相談予約電話 TEL 982-9685 (市民参加推進課)

私たちの情報紙作成のお手伝いをいただける方を募集します。気軽に声をかけてください。

* 題字については、檜垣民子さんのご協力をいただきました。

発行 吉川市男女共同参画推進市民会議OB「笑がおの会」
 問合せ 吉川市民参加推進課男女共同参画・文化交流担当
 〒342-8501 埼玉県吉川市吉川2-1-1
 電話 048-982-9685 FAX 048-981-5682

